

事前資料

※報道解禁は「8月3日正午」

「熊本を映した海兵隊フィルム」について

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク

報道会見

〔 日時：令和2年8月3日（月）10時半
場所：合志市立図書館・西合志図書館集会室
合志市御代志1661-265 〕

1 「海兵隊フィルム編」の概要

(1) フィルム概要・入手経緯

- NCM長崎ケーブルメディア「ながさき被爆記録全集 海兵隊フィルム」での放映映像
- 「ながさき原爆記録全集 第11回 長崎県外の映像など」収録での「熊本県関係資料 3箇所」の映像資料

(2) 経緯・提供者

- 2019年11月「熊本地区の進駐軍撮影のカラー映像がある」との長崎在住神田様の情報から高谷がコンタクト
- 長崎在住のフリーTVディレクター「吉村陽夫（あきお）氏」提供映像
- 1995年に羽仁進代表の市民団体「平和博物館を創る会」での10フィート運動により米国国立公文書館より画像のみを入手。画像に関わるオペレーションレポート等はなし。
- 日本国内では1970（昭和45）年に、TV番組等で数秒から数分程度で放映されている。
- 16ミリカラーフィルムの「1万6661フィート（3.25km）・約5時間・1121カット」
- 本フィルムは、テレシネ機器を通して生フィルム複写の「テレシネ映像」である。
- 長崎原爆の詳細な被害状況を撮影したフィルムであるが、その他にも長崎くんちの様子や市内周辺の風景や人々の生活の様子等もある。また、「被爆直後ながら人々の笑顔があふれる映像」は、米国によるプロパガンダとの指摘もある。
- 今回の調査で、熊本関係は「11カット・5分21秒」を確認

(3) 撮影部隊の概要

- 撮影部隊 米海兵隊第2海兵師団ノーマン・ハッチ少佐指揮 複数の映像班
2D MAR DIV MOVIE SELECTION
※佐世保上陸の第5海兵師団撮影班でも、16ミリ・スチール写真を撮影
- 撮影期日 1945年9月23日～11月10日
- 部隊の軌跡 長崎港上陸、市内原爆被災跡地、長崎近辺（大村・島原他）、大牟田、熊本

2 熊本等撮影の概要

※「第2海兵師団カラー撮影の熊本地区等一覧：7月」を参照

(1) 健軍飛行場（⑧37秒・⑨39秒・⑩20秒）計116秒

- 健軍飛行場での接收状況、飛行機・武器類の遺棄・破壊状況
- 映像撮影は10/15、写真は10/14もあり
- 陸軍四式重爆撃機「飛龍」横シルエット・第一七〇戦隊・背景には「金峰山系」、百式輸送機と百式司令部偵察機の機首や発動機拡大、飛龍機首部と機銃装備状況、百式輸送機・白十字旗マーキング機体・米軍ジープ

(2) 三菱重工業熊本航空機製作所（③29秒・⑪39秒）計67秒

- 熊本航空機製作所の敗戦時状況
- 映像撮影は10/15か、写真は10/26もあり
- 小規模建物群・長尺工場建物、長尺工場建物・3本の煙突・背景には飯田山

(3) 菊池恵楓園（①29秒・②20秒・⑦39秒・⑫14秒・⑬11秒・⑭17秒）計130秒

- 菊池恵楓園の映像記録化
- 撮影は10/27、写真は10/23もあり
- 菊池恵楓園家族舎縁側での11名少年、農作業男性や女性、恩賜の柿、菊池恵楓園英字看板・正門・「国立癩療養所 菊池恵楓園 national leprosarium kikutikeihuen」、旧々事務本館、米兵と宮崎松記園長・下瀬初太郎看護部長、恵楓学園の門・看板・小学生用平屋建物、146畳敷き大広間のある礼拝堂

(4) 大牟田 (④41秒・⑥26秒) 計67秒

- 米海兵隊部隊の歓迎行事の様子と想定される。
- 演奏バンドは「三井染料工業所の“三井染料軍楽隊(当初の名称は“三井染料音楽部ブラスバンド”で指揮者は大友雅晴氏(海軍軍楽隊出身))”である。但しこの映像の指揮者は「平島松敏氏」であろうと、愛好会所属の「吉村一夫さん(102歳)」が証言
- 服装はカーキ色の軍隊調、帽子には白線の社員章がつき、腕章は「○井染○」と読める。
- 映像撮影日時は不明、他写真は10/15もあり。
- 場所は三井染料工業所本部棟もしくは三井港倶楽部ではなかろうか。ただし三井化学総務課には、米軍来訪記録なし。

(5) 長崎港か (⑤79秒) 79秒

- 撮影された米艦は兵員輸送艦「AP-34 J・フランクリン・ベル」と想定。入港・日時は不明。

3 ファイルムの歴史的意義・価値、撮影意図

(1) 歴史的意義・価値性

- 敗戦後の熊本を記録した貴重な16ミリカラーフィルムの確認、撮影全容を初紹介
- 健軍飛行場での連合国への接收状況、飛行機・武器類の遺棄の関わるカラー画像は初確認である。熊本航空機製作所の敗戦時状況がわかるカラー画像の初確認である。
- 進駐軍が菊池恵楓園を16ミリカラーフィルムで記録した資料の初確認
- なお、スチール写真も同時に写真班が撮影。9月以降で、別途公開予定
- 吉村陽夫(あきお)氏:TVディレクター・提供者
「この映像は長崎原爆投下後最も早い時期に撮影された貴重なカラーフィルムです。NCMで“ながさき原爆記録全集”として、2016年の被爆70年の年から、毎月約1本30分の原爆番組を放送しています。今夏には第60回の放送を予定。今回の映像は“ながさき原爆記録全集第11回県外の映像”より。繰り返し放映が可能なケーブルテレビと視聴者との関わりやすさで番組は続いています」
※NCM「ながさき原爆記録全集 第56回特別版」 2020年ギャラクシー賞テレビ部門奨励賞受賞 他にも受賞多数

(2) 菊池恵楓園撮影記録の意図についての各者コメント

- 太田 明:菊池恵楓園自治会副会長
「社会交流会館に残された資料では10/23・27の該当日での米兵来所の記録は残されていない。ただ、撮影期日不明の写真資料は10枚残されている。進駐軍が何度も来所したことが確認できるが、その目的・意図は不明である」
「進駐軍の衛生状況の向上、戦後統治の効率化もあるのだろうが、宮崎松記園長も進駐軍向けに英字看板を素早く設置するなど対応している。その後の園へのララ物資支援も潤沢に行われ、キリスト教に改宗した入所者も多かった」
「菊池恵楓園の戦後史を語るうえで、多様な文脈で切り取りができる映像である」
- 猪飼隆明:大阪大学名誉教授在熊でハンセン病問題に精通
『近代日本におけるハンセン病政策の成立と病者たち』他著作多数
「まずは、米国でのレプラ政策と対照・比較するため、現況調査の視点があつたのではないか。ただ、その後も写真を確認すると、進駐軍が何度も訪れた状況も見ることができ、日本統治下での進駐軍の“宣伝行為”とも見て取れる。この後は、園と進駐軍との関わりを解明していく必要がある」
「3町歩にも広がる農園風景や収穫の様子は貴重な映像である。カラー映像でもあり、家族舎に集合した少年達の顔色も見て取れる」
- 黒尾和久:栗生楽泉園重監房資料館部長
「全国のハンセン病資料館で米軍(進駐軍)訪問等が確認されているのは沖縄愛楽園と今回の菊池恵楓園の2カ所である。沖縄でも多様な記録映像が残されている。戦後日本における効率的統治に向けての政策決定に関わる記録化の意味合い、ララ物資支給のためのデータづくりの視点もあるのではないか。今後、他園でも同様の進駐軍資料が確認される可能性も高い」
- 辻 央(あきら):沖縄愛楽園交流会館学芸員
「沖縄戦終了後で間もなく、メンデリウス中尉の映画班が訪問し、こわれるままに当時の早

田園長が炎天下の天幕での屋外解剖も含め2週間にわたり撮影がなされた。沖縄戦全般での広範な記録化のほか、米軍統治での宣撫的意味合いもあったのではないかと
 「沖縄で撮影された動画と約半年しか変わらない時期のものであるうが、戦争が終結した中でとてもリラックスした米兵の姿がうつっている。愛楽園で撮影された動画では、厳しい戦争の影響でやせ細った在園者の姿や、後遺症を悪化させ、病状のひどい人の姿を米軍は撮影していたので、その違いも感じた。米軍撮影の意図では、日本に駐屯する米軍兵士たちへのハンセン病の影響をはかる調査の一環とも想定できる」

□松田 斉 (さい) : ピースバトン・ナガサキ副代表 : 本フィルムの調査特定作業の担当者
 「本撮影の主任務は長崎原爆後の詳細な記録化ではあるが、その他にも長崎くんち、町並み、人々の生活と広範囲な撮影内容である。市内の衛生状況(下水・ゴミ焼き場他)を集中的に記録しており、進駐軍の衛生状況確認の意味合いもあるのではないかと」

(3) 公開・クレジット、今後の利用や公開等

- 「第2海兵師団カラー撮影の熊本地区等一覧」の「① 家族舎少年集合場面」で、少年11名が写されているが、経年で人物特定も困難であり、自治会としては画像公開了承である。
- クレジットは「長崎ケーブルメディアで放送中“ながさき原爆記録全集”よりTVディレクター吉村あきお氏提供・くまもと戦跡ネット高谷和生調査」でお願いします。
- くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワークでは、本資料等を掲載した啓発リーフレット『進駐軍の見た熊本(仮)』を作成予定。



上左：長崎港と思われる港への入港様子
 上右：三井染料軍楽隊による米海兵隊部隊歓迎と思われる演奏様子
 下左：健軍飛行場の四式重爆撃機「飛龍」の接收様子
 下中：三菱重工業熊本航空機製作所部品工場の全景、背景は飯田山
 下右：菊池恵楓園の英字看板と事務本館木造建物



— 連絡先 —

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク代表 高谷 和生
 □〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
 □携帯 090-1513-5528
 □メールアドレス takayanagi912@yahoo.co.jp
 □くまもと戦跡ネットHP <https://kumamoto-senseki.net/>